

平成 29 年 7 月 11 日
愛 媛 大 学

漱石にとって「書くこと」とは —夏目漱石生誕 150 年記念—公開講演会を開催

このたび、愛媛大学教育学部日本語学研究室と松山坊っちゃん会の共催で、夏目漱石生誕 150 年を記念した公開講演会（松山坊っちゃん会夏季例会を兼ねる）を以下のとおり開催します。

今回は、日本近代文学研究の第一人者である日本近代文学館専務理事の中島国彦氏と漱石の書簡について詳しい長島裕子氏を講師としてお招きし、お話しいただきます。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：平成 29 年 7 月 30 日（日）13 時 30 分～15 時 45 分

場 所：愛媛大学 法文学部本館 8F 大会議室

13 時 30 分 開会の辞 松山坊っちゃん会 武内 哲志会長

13 時 35 分 「倫敦消息」における「書く」意識をめぐって
早稲田大学文学学術院講師 長島 裕子氏

14 時 35 分 講演を文字にするということ
早稲田大学名誉教授・日本近代文学館専務理事 中島 国彦氏

15 時 35 分 閉会

※送付資料 2 枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

教育学部 教授

佐藤 栄作（さとう えいさく）

TEL：089-927-9398

Mail：sato.eisaku.mg@ehime-u.ac.jp

講師紹介

中島 国彦（なかじま くにひこ）早稲田大学名誉教授。日本近代文学館専務理事。1946年生まれ。1973年早稲田大学大学院文学研究科博士課程中退。同大助手・専任講師・助教授を経て、84年教授。1995年『近代文学にみる感受性』（筑摩書房）でやまなし文学賞、同著作で「博士(文学)」。同大第二文学部学部長、日本近代文学会代表理事、「漱石山房」記念館整備検討会座長などを歴任。主な編著書として、『新潮日本文学アルバム永井荷風』（新潮社 1985年）、『新日本古典文学大系明治編 30』（岩波書店 2009年）など。岩波書店版『白秋全集』『荷風全集』編集委員。

長島 裕子（ながしま ゆうこ）早稲田大学文学学術院非常勤講師。1953年生まれ。1979年早稲田大学大学院文学研究科博士前期過程修了。著書に、『夏目漱石の手紙』（共著 大修館書店 1994年）、『文章の達人 家族への手紙 4 夫より妻へ』（編著 ゆまに書房 2004年）、『漱石の愛した絵はがき』（共編 岩波書店 2016年）がある。日本近代文学館、早稲田大学エクステンションセンター主催の文学講座の講師を担当している。